

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	私立ハンセン病療養所補助金	担当部局庁	健康局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	昭和26年度	担当課室	疾病対策課	疾病対策課 山本 尚子			
会計区分	一般会計	施策名	IV-3-2 難病対策、ハンセン病対策、エイズ対策を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	ハンセン病問題の解決の促進に関する法律第9条	関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「ハンセン病問題の解決の促進に関する法律第9条」に基づき、国内2カ所の私立ハンセン病療養所(神山復生病院、待労院診療所)で行われている入所者に対する必要な療養の確保を図るため運営費等の補助を行う。 【補助率 10/10】						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	私立ハンセン病療養所の入所者に対して必要な療養を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	240	239	238	217	127
		補正予算					
		繰越し等					
		計	240	239	238	217	127
		執行額	240	239	238		
	執行率(%)	100	100	100			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	成果目標を示すことは困難。本事業は、法律に基づき入所者への療養及び療養所の管理運営を行うものであるため。	成果実績		—	—	—	—
		達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	成果目標を示すことは困難。本事業は、法律に基づき入所者への療養及び療養所の管理運営を行うものであるため。	活動実績 (当初見込み)		—	—	—	—
				( — )	( — )	( — )	
単位当たりコスト	— (円/ )	算出根拠		—			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	ハンセン病療養所費補助金	217	127	交付先の減			
	計	217	127				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・ 状況・ 予算の 状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	ハンセン病問題の解決の促進に関する法律に基づくものであり、事業目的や重要性の観点から優先度の高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	ハンセン病問題の解決の促進に関する法律に基づくものであり、国が実施すべき事業である。
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の 流れ、 費目・ 使途	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	ハンセン病問題の解決の促進に関する法律に基づくものであり、事業目的に即したものである。
活動実績、 成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	
—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	<p>・ハンセン病問題の解決の促進に関する法律によれば、国の隔離政策に起因してハンセン病の患者であった者等が受けた身体および財産に係る被害、その他社会生活全般にわたる被害の回復には、未解決の問題が多く残されており、ハンセン病の患者であった者等が、地域社会から孤立することなく、良好かつ平穏な生活を営むことができるようするための基盤整備は喫緊の課題とされている</p> <p>・本事業は、ハンセン病問題の解決の促進に関する法律第9条に基づき、入所者に対する必要な療養が確保されるよう、必要な措置を講ずるものであり、適切に実施されている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	ハンセン病問題の解決の促進に関する法律に基づく必要な事業であり、予算の執行の観点からも概ね妥当であるが、引き続き適切な予算執行に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	—		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	279	平成23年行政事業レビュー	0133

※平成23年度実績を記入

厚生労働省  
238百万円

交付申請書の内容審査、交付  
決定、補助事業者の指導監督

【補助】

A. (財) 神山復生病院  
136百万円

入所者の療養、施設の管理運営等の実施

【補助】

B. (社福) 聖母会待労院診療所  
102百万円

入所者の療養、施設の管理運営等の実施

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.(財) 神山復生病院			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	職員基本給等	89			
庁費	備品費、消耗品費、印刷製本費等	46			
旅費	職員等派遣旅費	1			
計		136	計		0
B.(社福) 聖母待労院診療所			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	職員基本給等	62			
庁費	備品費、消耗品費、印刷製本費等	39			
旅費	職員等派遣旅費	1			
計		102	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財) 神山復生病院	入所者の療養、施設の管理運営等の実施	136		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(社福) 聖母会待労院診療所	入所者の療養、施設の管理運営等の実施	102		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					